



全国的に問題となつて
いる有害鳥獣の増加は、
鳥取県でも深刻化。狩
猟者も高齢化する中、
2017年に発足した。後
継者育成を見据えなが
ら、イノシシやシカなど
田畑を荒らす獣を駆

除しようと狩猟活動な
どに汗を流す。ベテラン
猟師にわたりの仕掛け
方や獣の通りの道を教
わるなどして、技術の向
上に励むのは約40人の
メンバー。月に2回程度
集まり、情報を共



狩猟したイノシシを処理するメンバーら

琴浦町

里山保全団体 カサドル

有害鳥獣の駆除と若手狩猟者の育成
ジビエ肉の利活用も



有害鳥獣の有効活用のため、
皮をなめしていくメンバー

有しながら活動を進め
ている。活動は多岐にわた
って展開。狩猟だけでなく、
ジビエ料理や革細工、角を使
ったアクセサリー作りなど、
有害鳥獣を余すことなく活
用する取り組みにも力を注
ぐ。イベントに出向き、ジ
ビエ料理を出店することも
多い。保育園や小学校など
に足を運び、動物愛護や生
態系、里山保全の大切さを
子どもたちに説くことも
活動の一つだ。紙芝居やイ
ノシシのかぶり物を用いて、
分かりやすく説明するため
工夫も凝らしている。力を
入れているのが若手狩猟者
の育成。作業の軽減化など、
狩猟の第一歩を踏み入れる
ためのハードルを低くする
試みを模索する。



ICTを導入した狩猟の効率化、体験や講習による狩猟者の増加や技術向上、里山の現状や狩猟の魅力を伝えるなど「農作物被害」「狩猟の後継者不足」の二つの課題解決に向け、さらなる活動を展開していきたいです。



代表
高橋 龍太さん

